

## 香川県子どもの生活状況調査報告書【概要版】

香川県では、こども基本法に基づく県こども計画の策定に向けて、県内の子どもの生活状況などを把握するとともに、支援制度の利用状況や問題点を明らかにし、より効果的な支援のあり方について検討するため、「香川県子どもの生活状況調査」を実施しました。

## 調査の概要

## ◆ 子どもとその保護者に対する調査

調査対象：県内の小学5年生、中学2年生及び高校2年生の児童・生徒並びにその保護者  
(各学年の児童・生徒数の25%を抽出)

学年	児童・生徒数	保護者数
小学5年生	2,024人	2,024人
中学2年生	2,117人	2,117人
高校2年生	2,077人	2,077人
計	6,218人	6,218人

調査時期：令和6年2月6日～3月6日

調査方法：住民基本台帳を基に無作為抽出 調査票の郵送配布・郵送回答またはインターネット回答

回答状況：有効回答数 【保護者】2,685件（有効回答率43.2%）

【児童・生徒】2,556件（有効回答率41.1%）

## ◆ 相談・支援機関に対する調査

調査対象：子どもや保護者の相談・支援に携わる機関120機関

調査時期：令和6年2月6日～2月27日

調査方法：郵送による配付・回収

回答状況：有効回答数104件（有効回答率86.7%）

## 保護者に対する調査

## ◆ 等価世帯収入の水準

本調査では、世帯の年間収入の水準について、「子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行いました。

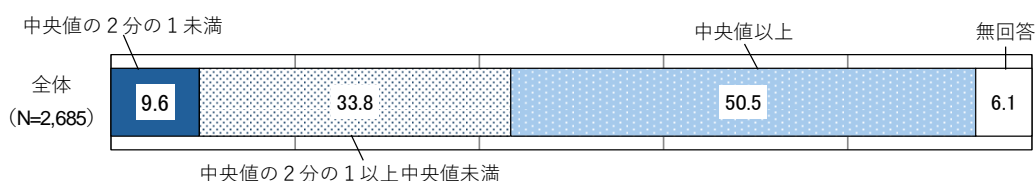
「等価世帯収入の水準」の算出

- ・年間年収に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする。）
- ・上記の値を、保護者票問3で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。
- ・上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かを分類する。

等価世帯収入の中央値：290.69万円

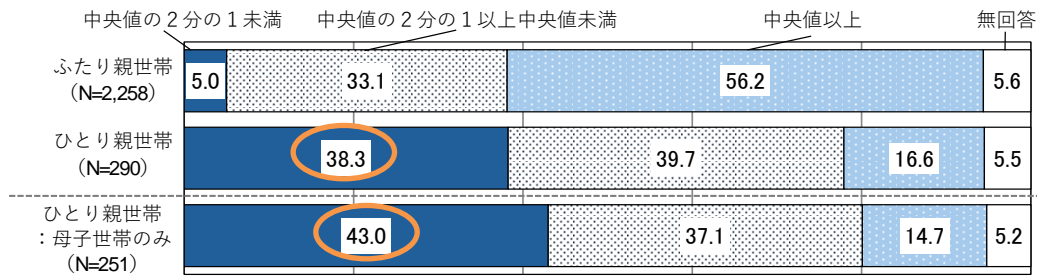
等価世帯収入の中央値の2分の1：145.34万円

今回の調査では、「中央値の2分の1未満」が9.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」が33.8%、「中央値以上」が50.5%でした。



◆ 等価世帯収入の水準（世帯状況別）

世帯状況別に等価世帯収入の水準をみると、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、「ひとり親世帯」では38.3%、「母子世帯」のみでは43.0%となっており、「ふたり親世帯」と比べて高くなっています。

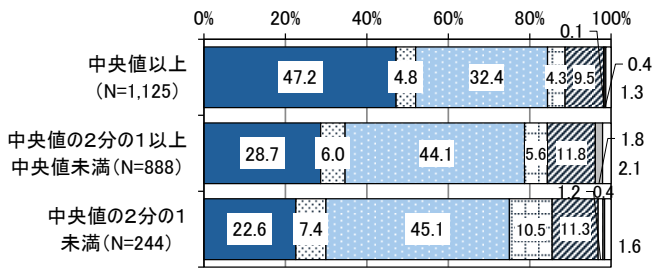


◆ 親の雇用形態

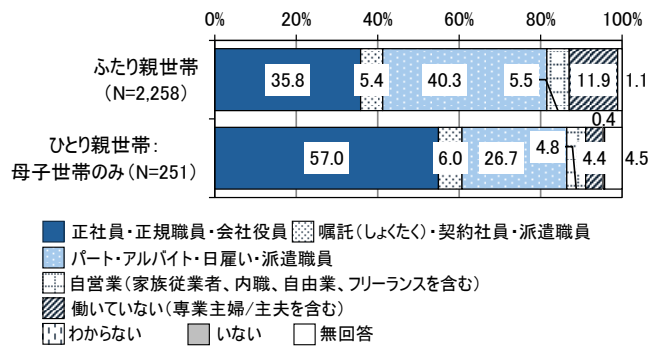
母親の雇用形態を等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」の割合は、「中央値以上」では47.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では28.7%、「中央値の2分の1未満」では22.6%となっています。

さらに世帯状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」の割合は、「ふたり親世帯」では35.8%、「ひとり親世帯（母子世帯のみ）」では57.0%となっています。

【母親】 等価世帯収入の水準別



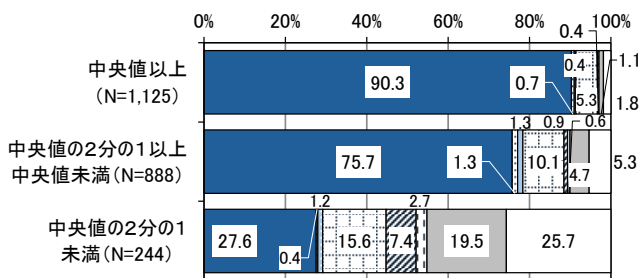
【母親】 世帯状況別



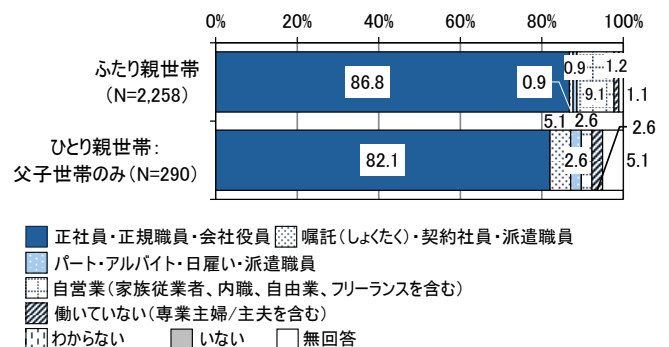
父親の雇用形態を等価世帯収入の水準別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」の割合は、「中央値以上」では90.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では75.7%、「中央値の2分の1未満」では27.6%となっています。

さらに世帯状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」の割合は、「ふたり親世帯」では86.8%、「ひとり親世帯（父子世帯のみ）」では82.1%となっています。

【父親】 等価世帯収入の水準別



【父親】 世帯状況別

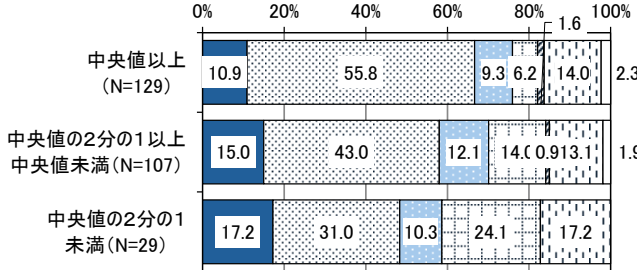


◆ 就労していない理由

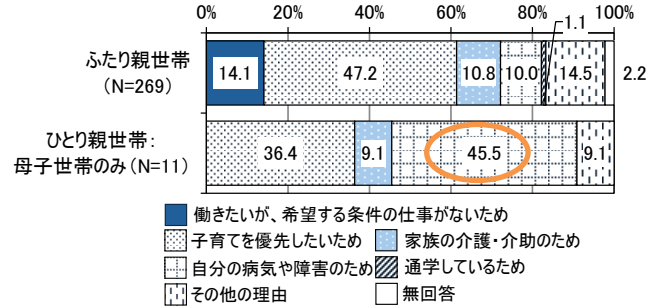
母親の就労していない理由について等価世帯収入の水準別にみると、「子育てを優先したいため」の割合は、「中央値以上」では 55.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 43.0%、「中央値の2分の1未満」では 31.0%となっています。

さらに世帯状況別にみると、「自分の病気や障害のため」の割合は、「ふたり親世帯」では 10.0%、「ひとり親世帯（「母子世帯」のみ）」では 45.5%となっています。

【母親】等価世帯収入の水準別



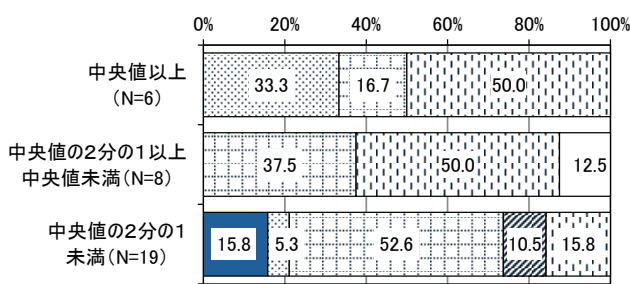
【母親】世帯状況別



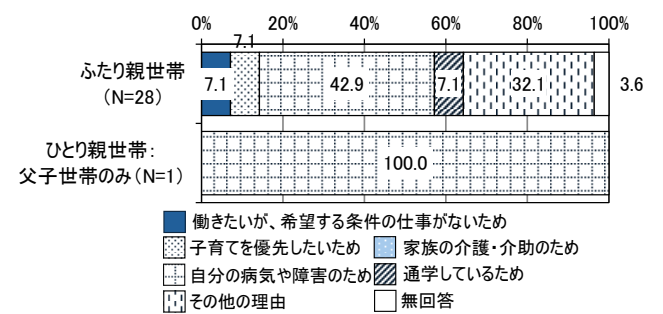
父親の就労していない理由について等価世帯収入の水準別にみると、「自分の病気や障がいのため」の割合は、「中央値以上」では 16.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 37.5%、「中央値の2分の1未満」では 52.6%となっています。

さらに世帯状況別にみると、「自分の病気や障害のため」の割合は、「ふたり親世帯」では 42.9%、「ひとり親世帯（「父子世帯」のみ）」では 100%となっています。

【父親】等価世帯収入の水準別



【父親】世帯状況別

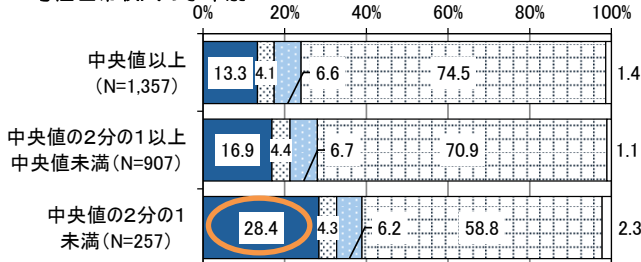


◆ 子どもだけで夕食をとる頻度

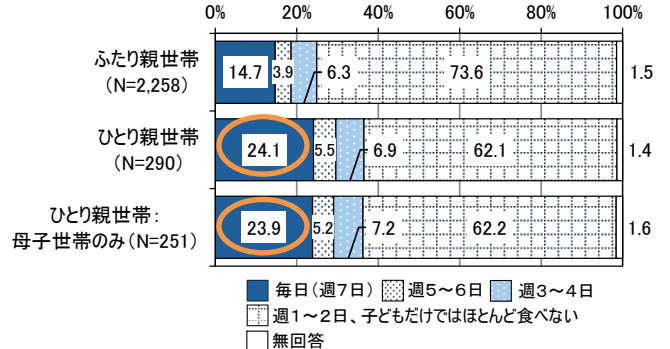
子どもだけで夕食をとる頻度について等価世帯収入の水準別にみると、「毎日（週7日）」の割合は、「中央値以上」では 13.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 16.9%、「中央値の2分の1未満」では 28.4%となっています。

さらに世帯状況別にみると、「毎日（週7日）」の割合は、「ふたり親世帯」では 14.7%、「ひとり親世帯」では 24.1%、「母子世帯」のみでは 23.9%となっています。

等価世帯収入の水準別



世帯状況別



◆ 子育てに関する不安や悩み（等価世帯収入の水準別、世帯状況別）

子育てに関する不安や悩みについて等価世帯収入の水準別にみると、「子どもの進学、受験」の割合は、「中央値以上」では47.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では48.0%、「中央値の2分の1未満」では50.2%、世帯状況別にみると、「ふたり親世帯」では48.0%、「ひとり親世帯」では49.3%、「母子世帯」のみでは53.4%となっています。

「子どもの教育費」の割合は、「中央値以上」では32.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では48.5%、「中央値の2分の1未満」では48.2%、世帯状況別にみると、「ふたり親世帯」では39.0%、「ひとり親世帯」では44.8%、「母子世帯」のみでは48.6%となっています。

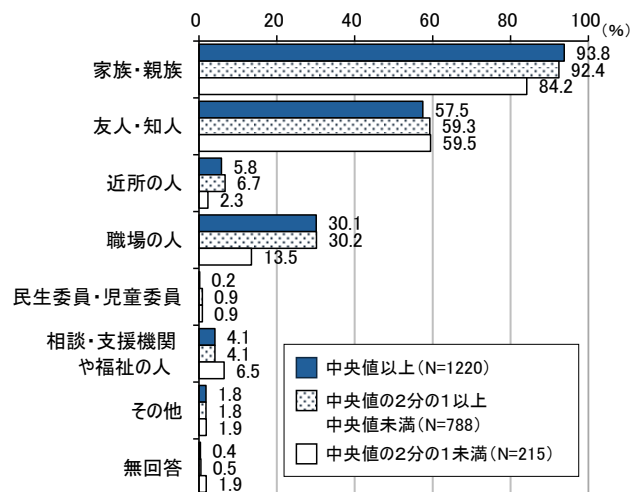
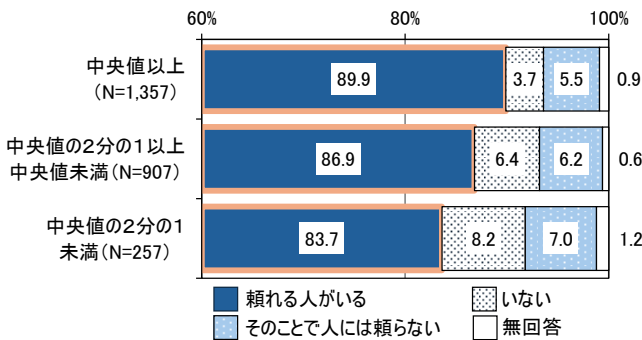
【表の見方】 比率(%) 網掛け=1位 2位	調査数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
		子どもの進学、受験	子どもの将来の就職	子どもの教育費	子どものスマートフォン等でのネット利用	子どもの友人関係	子どもが勉強しないまたは成績が悪い	生活習慣(あいさつ、規則正しい生活など)	子どもに対するしつけ	子どもの身体 の発育や病 気、健康状態	
等価世帯収入	中央値以上	1,357	47.8	38.2	32.0	39.9	19.7	16.5	19.3	17.2	15.0
	中央値の2分の1以上 中央値未満	907	48.0	44.3	48.5	36.3	21.5	22.1	18.4	19.3	14.8
	中央値の2分の1未満	257	50.2	45.9	48.2	36.2	19.1	22.6	18.7	18.3	17.1
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	48.0	40.4	39.0	38.8	20.8	18.3	18.2	17.6	15.5
	ひとり親世帯	290	49.3	45.9	44.8	35.9	16.9	24.1	19.7	19.7	15.5
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	251	53.4	47.8	48.6	35.9	17.5	22.7	19.9	19.9	17.5
【表の見方】 比率(%) 網掛け=1位 2位	調査数	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	
		子どもの非行 や問題行動	家族と子育て のことで意見が 合わない	家族が子育て にあまり協力が してくれない	子どものこと で、相談する相 手がいない	子どもに十分な 食事や栄養を 与えることが できない	その他	悩みはない	無回答		
等価世帯収入	中央値以上	1,357	4.2	3.3	2.4	1.3	0.8	3.1	11.1	1.0	
	中央値の2分の1以上 中央値未満	907	4.3	3.3	3.3	2.6	1.7	1.9	8.5	1.2	
	中央値の2分の1未満	257	6.6	2.3	2.7	3.9	3.5	1.9	8.2	0.8	
世帯状況別	ふたり親世帯	2,258	4.1	3.4	2.8	1.6	1.0	2.7	10.1	1.2	
	ひとり親世帯	290	6.6	1.7	2.4	6.6	3.8	3.1	9.3	0.7	
	ひとり親世帯: 母子世帯のみ	251	7.2	1.6	2.0	6.4	4.0	2.4	7.6	0.8	

◆ 頼れる人の有無・相手【子育てに関する相談】

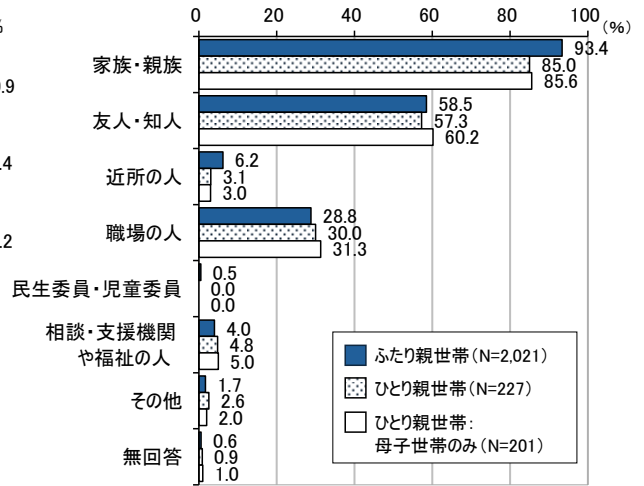
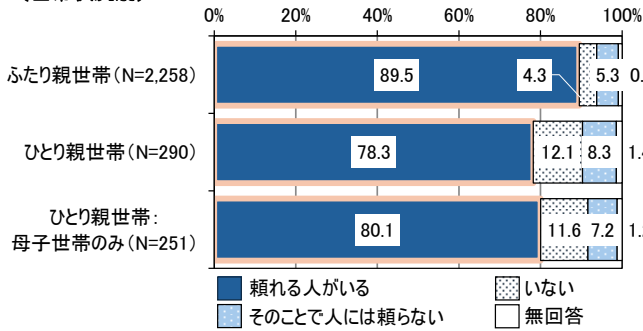
子育てについて頼れる人の有無について、等価世帯収入の水準別にみると、「頼れる人がいる」の割合はすべての水準で8割を超えており、頼れる人が「家族・親族」と回答した割合もすべての水準で8割を超えて最も多くなっています。

さらに世帯状況別にみると、「頼れる人がいる」の割合はすべての世帯で約8割以上となっており、頼れる人が「家族・親族」と回答した割合は8割を超えて最も多くなっています。

(等価世帯収入の水準別)

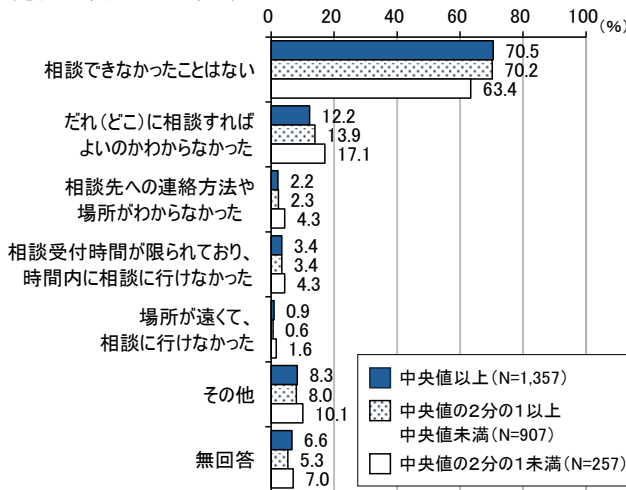


(世帯状況別)

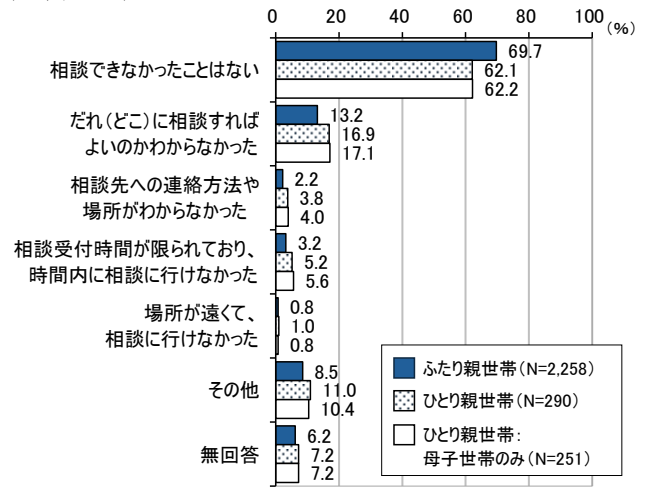


### ◆ 相談できなかった理由【子育てのこと】

(等価世帯収入の水準別)



(世帯状況別)

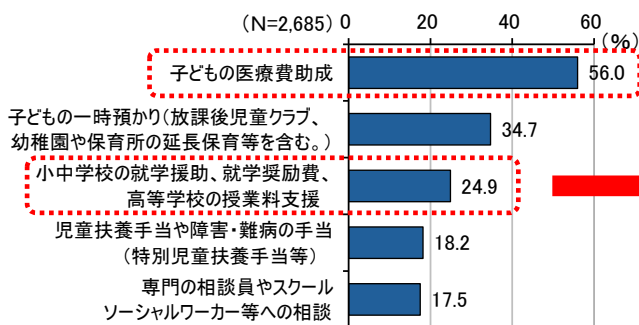


### ◆ 子育てに関する制度の利用状況と満足度 (上位5項目)

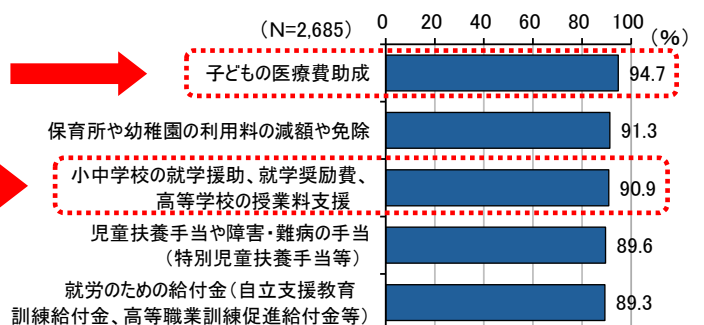
「子どもの医療費助成」は利用経験者が多く、満足度も94.7%と高評価の制度です。

また、「小中学校の就学援助、就学奨励費、高等学校の授業料支援」の利用経験者は2割程度ですが、満足度は90%と高評価になっています。

(利用状況(上位5項目))



(満足度(上位5項目))



## 子どもに対する調査

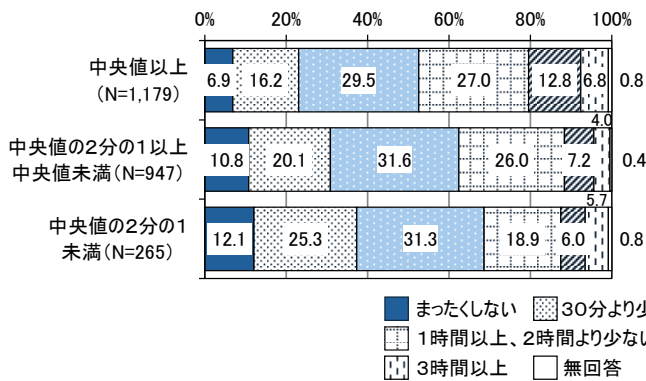
### ◆ 学習習慣

月～金曜日の学習習慣について等価世帯収入の水準別にみると、「2時間以上」の割合は、「中央値以上」では19.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では11.2%、「中央値の2分の1未満」では11.7%となっています。

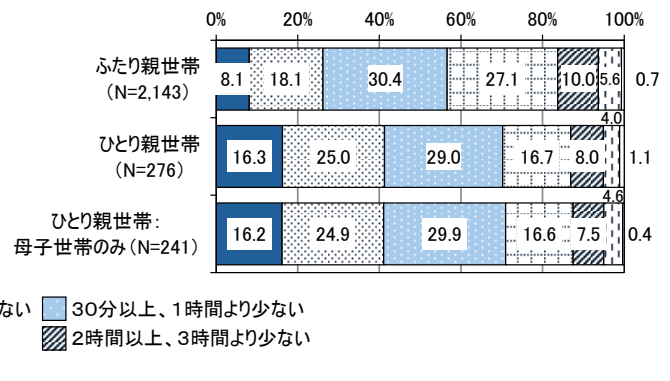
世帯状況別にみると、「2時間以上」の割合は、「ふたり親世帯」では15.6%、「ひとり親世帯」では12.0%、「母子世帯」のみでは12.1%となっています。

### 【月～金曜日】の学習状況

(等価世帯収入の水準別)



(世帯状況別)

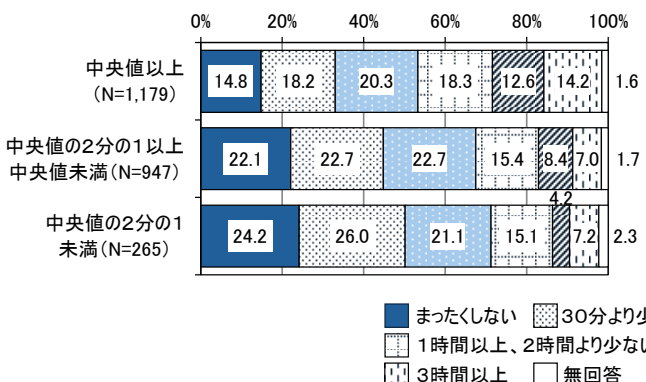


土・日曜日・祝日の学習習慣について等価世帯収入の水準別にみると、「2時間以上」の割合は、「中央値以上」では26.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では15.4%、「中央値の2分の1未満」では11.4%となっています。

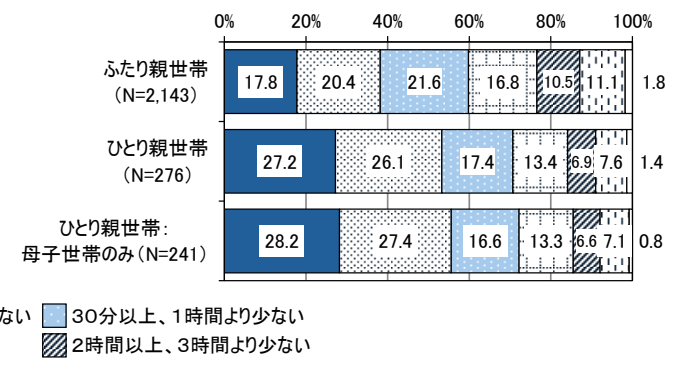
土・日曜日・祝日の学習習慣について世帯状況別にみると、「2時間以上」の割合は、「ふたり親世帯」では21.6%、「ひとり親世帯」では14.5%、「母子世帯」のみでは13.7%となっています。

### 【土・日曜日・祝日】の学習状況

(等価世帯収入の水準別)



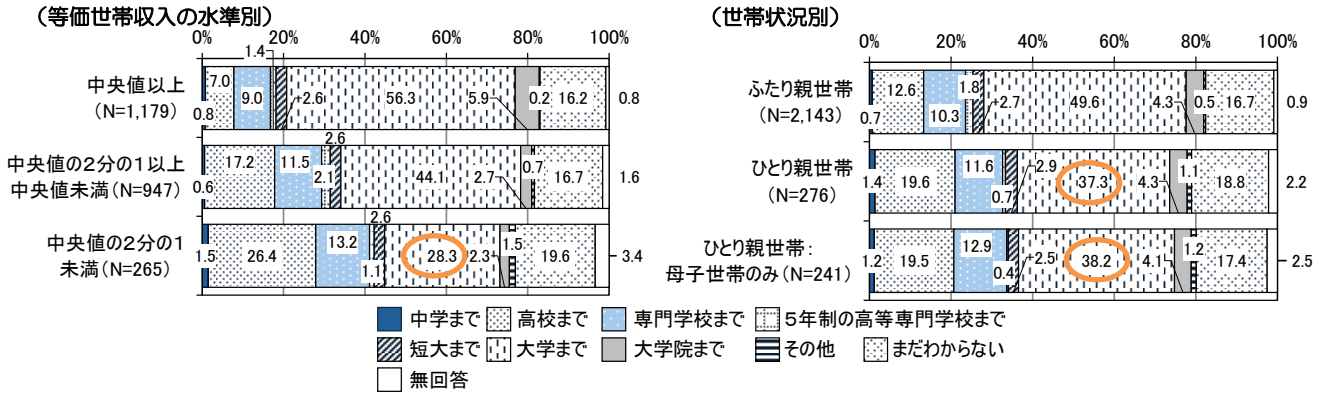
(世帯状況別)



## ◆ 進学希望

進学希望について等価世帯収入の水準別にみると、「大学まで」の割合は、「中央値以上」では56.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では44.1%、「中央値の2分の1未満」では28.3%となっています。

さらに世帯状況別にみると、「大学まで」の割合は、「ふたり親世帯」では49.6%、「ひとり親世帯」では37.3%、「母子世帯」のみでは38.2%となっています。

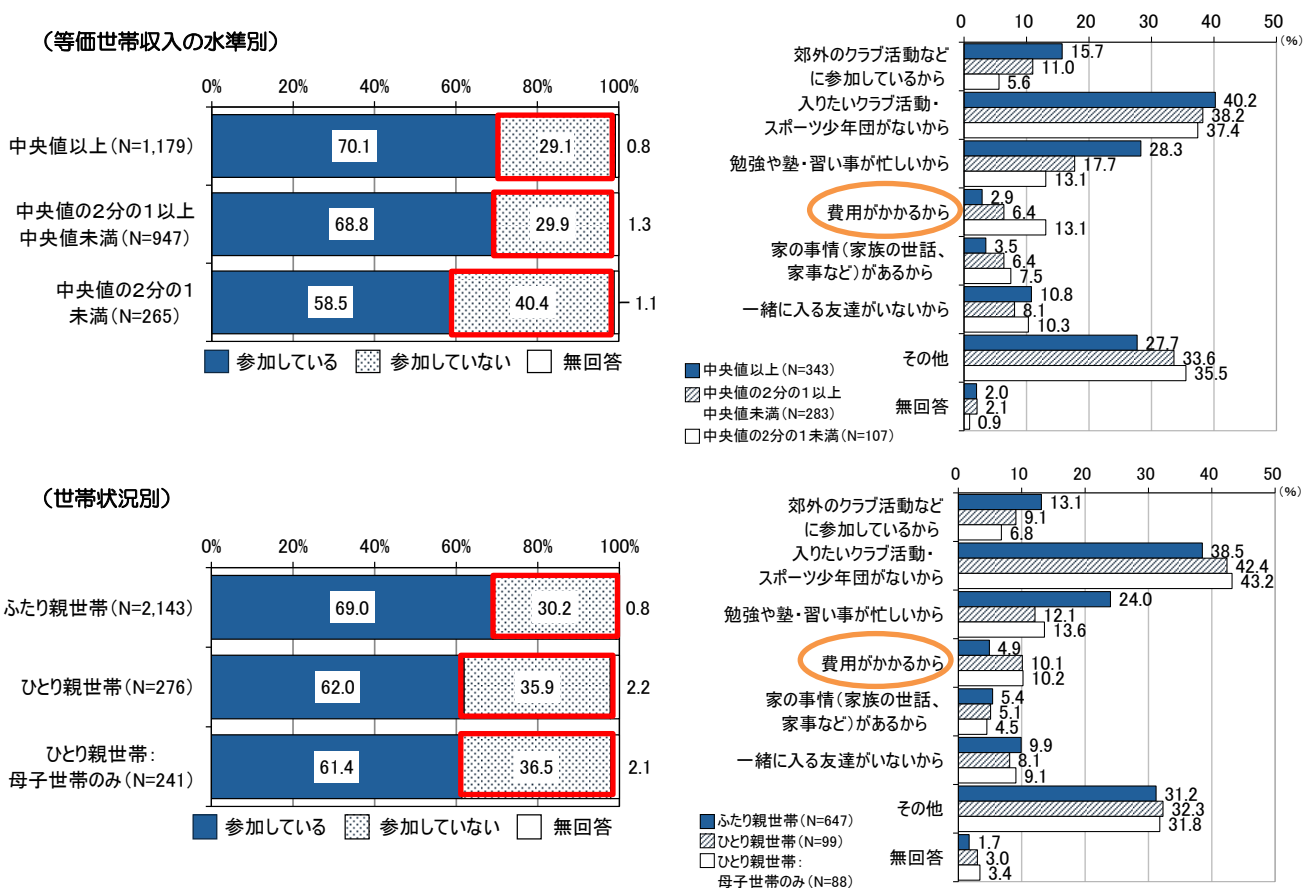


## ◆ 部活動の状況と部活動等を行わない理由

部活動の状況について、等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」の割合は、「中央値以上」の世帯では29.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では29.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では40.4%となっています。

また、世帯の状況別にみると、「参加していない」の割合は、「ふたり親世帯」では30.2%、「ひとり親世帯」全体では35.9%、「母子世帯」のみでは36.5%となっています。

部活動等を行わない理由について、等価世帯収入の水準別にみると、「費用がかかるから」が「中央値の2分の1未満」の世帯では13.1%、世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では10.1%、「母子世帯」のみでは10.2%となっています。



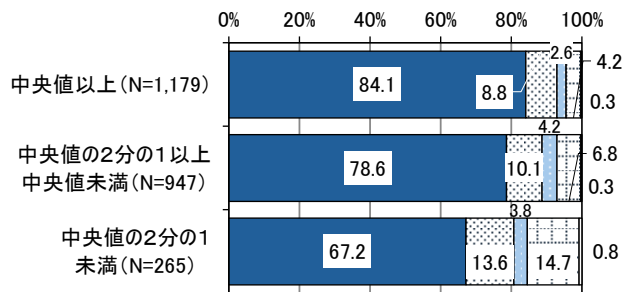
◆ 食事の頻度

食事の頻度について、等価世帯収入別にみると、【夕食】では「毎日食べる（週7日）」の割合はすべての水準で9割以上となっていますが、【朝食】については、「中央値以上」では84.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では78.6%、「中央値の2分の1未満」では67.2%、【夏休みや冬休みなどの期間の昼食】については、「中央値以上」では91.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では88.2%、「中央値の2分の1未満」では81.5%となっています。

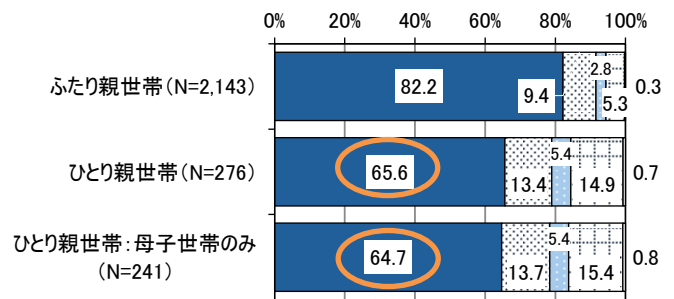
さらに世帯状況別にみると、【夕食】では「毎日食べる（週7日）」の割合はすべての世帯で9割以上と多くなっていますが、【朝食】については、「ふたり親世帯」では82.2%、「ひとり親世帯」では65.6%、「母子世帯」のみでは64.7%、【夏休みや冬休みなどの期間の昼食】については、「ふたり親世帯」では90.2%、「ひとり親世帯」では81.5%、「母子世帯」のみでは80.1%となっています。

【朝食】

(等価世帯収入の水準別)

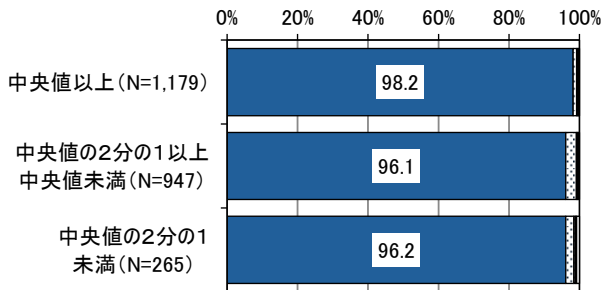


(世帯状況別)

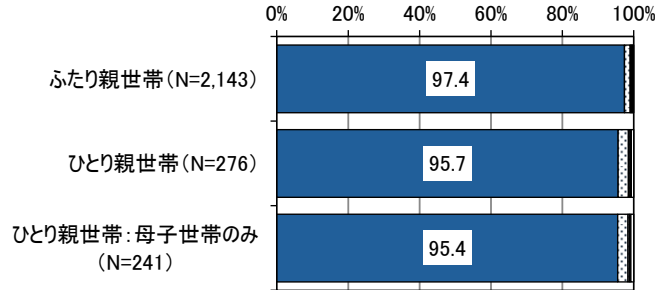


【夕食】

(等価世帯収入の水準別)

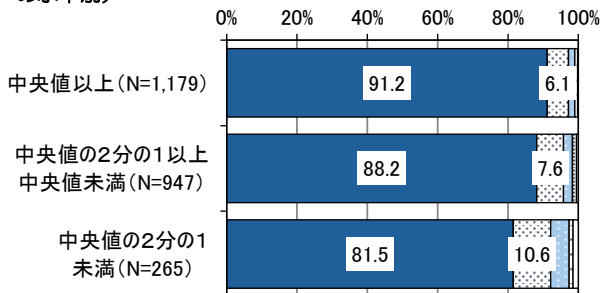


(世帯状況別)

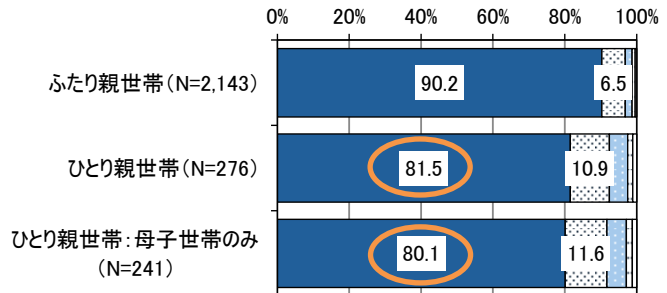


【夏休みや冬休みなどの期間の昼食】

(等価世帯収入の水準別)



(世帯状況別)



■ 毎日食べる(週7日)    ▨ 週5~6日    ■ 週3~4日  
 ▩ 週1~2日、ほとんど食べない    □ 無回答

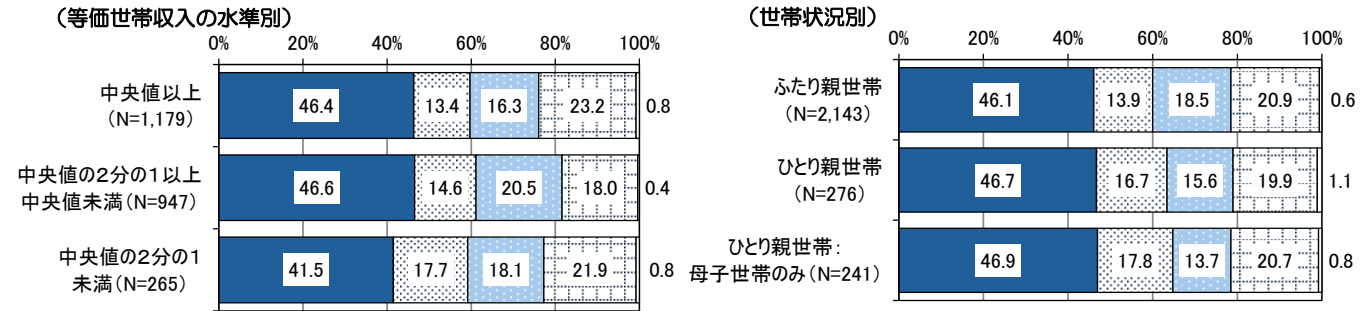


◆ 支援の利用状況

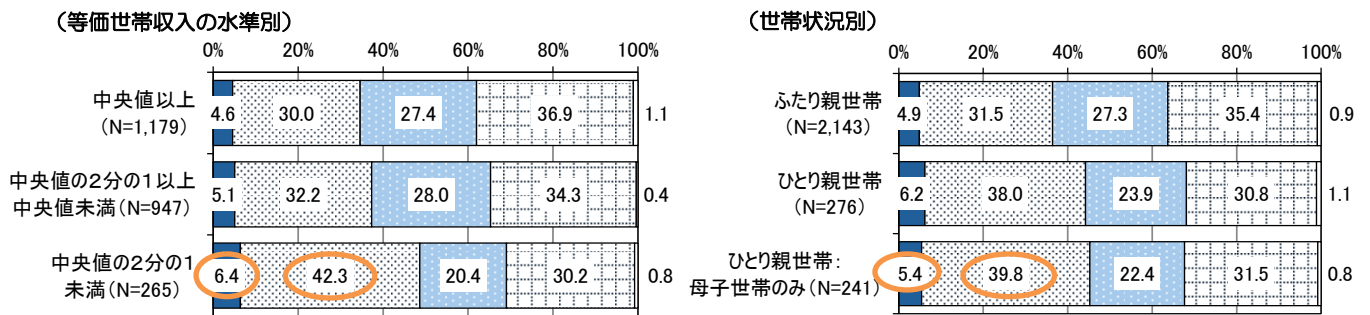
支援の利用状況について、等価世帯収入の水準別にみると、b) (自分や友人の家以外で) タご飯を無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など) について、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では 4.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 6.4%、「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、30.0%、42.3%となっています。

世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、ふたり親世帯では 4.9%、「ひとり親世帯：「母子世帯のみ」では 5.4%、「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、31.5%、39.8%となっています。

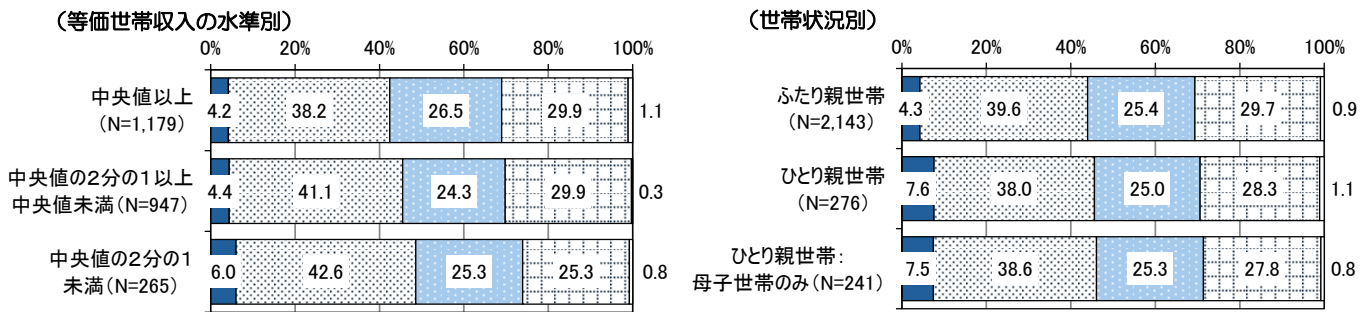
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (図書館、地域の交流スペースなど)



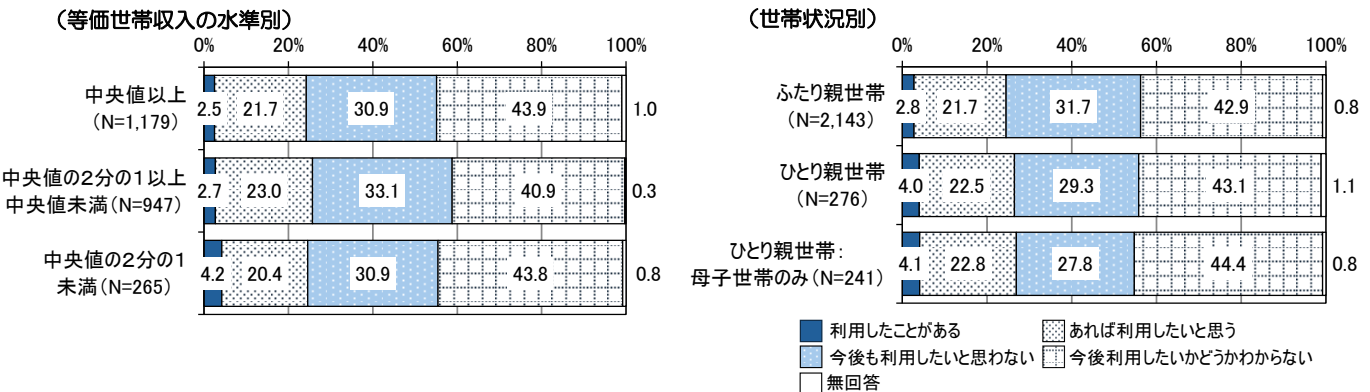
b) (自分や友人の家以外で) タご飯を無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)



c) 勉強を無料で見てくれる場所



d) (家や学校以外で) なんでも相談できる場所 (電話やネットの相談をふくむ)

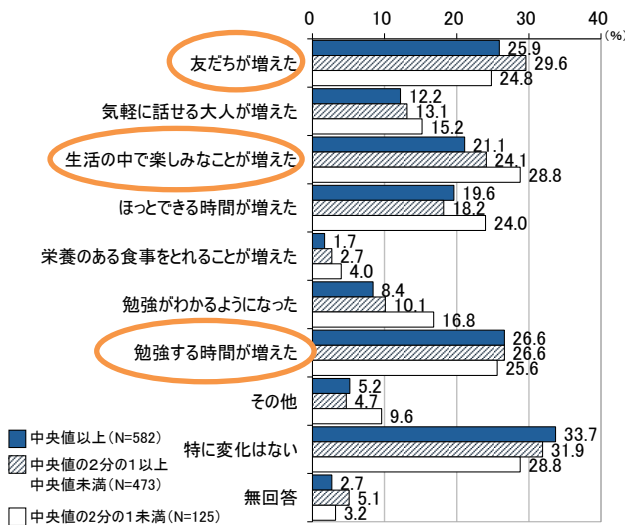


## ◆ 支援の効果

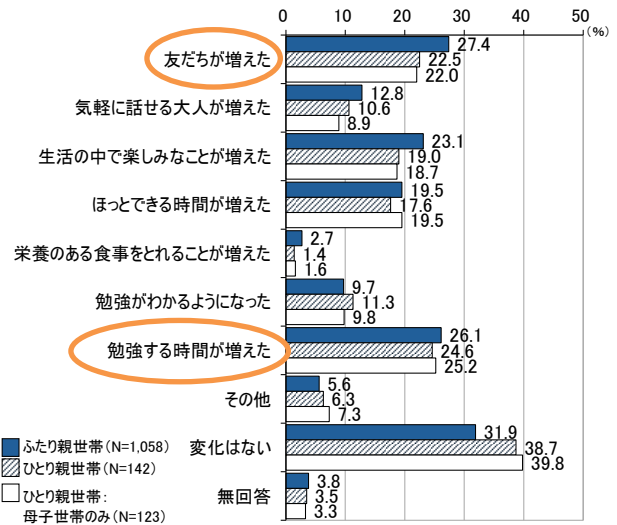
支援の効果について、等価世帯収入別にみると、「中央値以上」では「特に変化はない」(33.7%)が最も多く、次いで「勉強する時間が増えた」(26.6%)となっています。「中央値の2分の1以上中央値未満の世帯」では「特に変化はない」(31.9%)が最も多く、次いで「友だちが増えた」(29.6%)となっています。「中央値の2分の1未満」では「特に変化はない」「生活の中で楽しみなことが増えた」(同率 28.8%)となっています。

さらに世帯状況別にみると、すべての世帯で「特に変化はない」が最も多くなっています。次いで「ふたり親世帯」では「友だちが増えた」(27.4%)が多く、「ひとり親世帯」「母子世帯」のみでは「勉強する時間が増えた」がそれぞれ 24.6%、25.2%と多くなっています。

(等価世帯収入の水準別)



(世帯状況別)



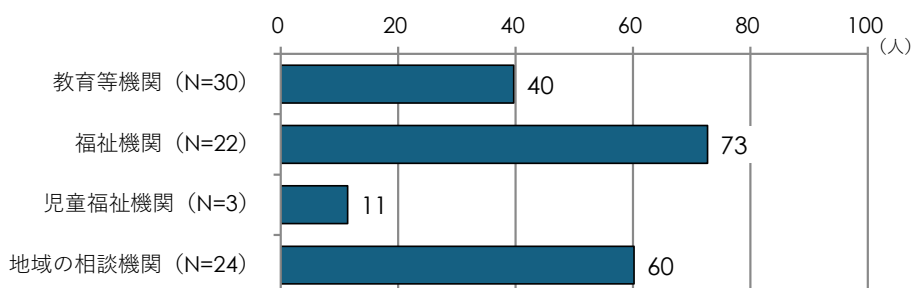
## 相談・支援機関に対する調査

本調査では、調査対象機関を次の区分に分けて集計・分析しています。

機関区分	相談・支援機関
教育等機関	保育所・幼稚園、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、教育支援機関、高等学校（定時制・通信制）
福祉機関	福祉事務所（生活保護担当）、母子・父子自立支援員
児童福祉機関	児童相談所、児童福祉施設
地域の相談機関	民生委員・児童委員、社会福祉協議会、NPO 法人

## ◆ 子どものいる貧困世帯からの、おおよその相談人数（年平均）

「福祉機関」では、就労や貧困についての相談が多くあります。



◆ 世帯が経済的に困窮している要因（上位 5 項目）

ひとり親	72.1%
不就労	50.0%
病 気	43.3%
非正規雇用	42.3%
障 害	39.4%

(n=104)

◆ 子どものいる世帯に多く見られる困難な状況（上位 5 項目）

不登校	51.9%
学力の不足	46.2%
不衛生	40.4%
虐 待	29.8%
地域からの孤立	28.8%

(n=104)

世帯が経済的に困窮している主な要因としては、「ひとり親」(72.1%)、「不就労」(50.0%)、「病気」(43.3%)が多く挙げられています。子どものいる世帯に多く見られる困難な状況については、「不登校」(51.9%)、「学力の不足」(46.2%)、「不衛生」(40.4%)が多くなっています。

◆ 他機関と連携する際の問題点、支援する際の問題点

他機関と連携する際の問題点及び支援する際の問題点として挙げられたものについて、〈情報共有〉〈連携体制・役割分担〉〈その他支援する側の問題〉〈支援を受ける側の問題〉の4つの区分に分類し、取りまとめました。

〈情報共有〉

- ・ 個人情報の保護との関連で他機関と十分に情報共有することが困難
- ・ 情報提供を行ったにも関わらず、その後の状況が知らされない

〈連携体制・役割分担〉

- ・ 普段からの交流の重要性
- ・ 連携のスピード感が欠けている
- ・ 役割分担が難しい

〈その他支援する側の問題〉

- ・ 支援施策に精通した人材の確保
- ・ 対応時間の問題

〈支援を受ける側の問題〉

- ・ 保護者の認識や理解が不十分
- ・ 問題の多重化・複雑化
- ・ 支援の拒否

香川県子どもの生活状況調査報告書

【概要版】

令和6年8月

香川県 健康福祉部 子ども政策推進局 子ども政策課

〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号

TEL 087-832-3282 FAX 087-806-0207

E-mail [kosodate@pref.kagawa.lg.jp](mailto:kosodate@pref.kagawa.lg.jp)